

学校支援  
だより

も  
や  
い

第 8 号

人吉市二中  
校区地域  
教育協議会

人吉西小 1年生〔生活科〕

3年生〔社会科〕学習支援

むかしのあそびを楽しむ

二十一年度の三学期が始まり、人吉西小から相次いで学習支援のS・Sカード（学校支援要請書）が寄せられました。一つは一年生の生活科で「むかしの遊びをしよう」と、もう一つは、3年生の社会科で「むかしの生活を体験しよう」でした。

一年生の生活科は一月二十九日の午前中に実施されました。支援には、学習サポーター十一人と老人会から七人の合計十八人で当たりました。



「イチ・ニ」「イチ・ニ」竹馬乗り挑戦



歌いながらリズムののってお手玉遊び

遊びは、こままわし・竹助に一生懸命でした。馬・羽根つき・竹トンボ・ピン玉・あやとり・お手玉・けきるようになる歌を歌いながらリズムに乗って楽しんでいました。サポーターはいんではいりました。午前中数種目種目に二人ずつ分かれ寒さも忘れて遊びに熱中して子どもたちに要領をていしました。教えたり相手をしました。予定していた時間があつた。この日は、霧が深くという間に過ぎ去り、子ども寒い朝でしたが、子どもたちの感想発表があり、代表たちは、素足になって何がサポーターにお礼の言葉回もチャレンジしていを言って昔遊びが終了しました。サポーターも補しました。



「これは炭火を入れて使うアイロンです」

むかしの生活用具を学ぶ

人吉西小の三年生は、二月十九日3・4時限目に社会科の学習で「むかしの生活用具」について学びました。この日、学習支援サポーターが合ノ原町の昔の道具収集家の有田さん宅から道具を西小3年生広場に運び、有田健一さんが道具の名前や使い方を一つ一つ説明しました。道具は、お膳（食卓）・炭火アイロン・ガラス管や箱型のハエ採り機・昔の電話・卓上ミシン・ランプ・ビー玉・めんこ・お札などを見て不思議そうに話を聞いていました。説明が終わると、地域の学校支援ボランティアの支援で七輪に火をおこし、もちを焼いて食べていました。サポーター八人が学習支援しました。

「〇つけ」支援

同じく人吉西小では、一月二十一日、リテラシーテストの〇つけ支援をしました。西校区の学習支援サポーター九人が国語・算数各百問の正答の〇つけ作業です。担任は、この間授業に集中し、後日〇付け結果を一人一人コンピュータに入力します。